

LINEの運用型広告プラットフォーム「LINE広告」、新たに「ホーム」タブでの広告配信を開始

2022.04.05 法人向けサービス

月間9,000万人が利用する「LINE」の様々なコンテンツ・サービスの入り口となっている「ホーム」タブへの広告配信によって、幅広いユーザーへのリーチを実現

LINE株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：出澤 剛）は、同社が運営するコミュニケーションアプリ「LINE」および「LINE」関連サービスを対象とした運用型広告配信プラットフォーム「LINE広告」において、新たに「ホーム」タブでの広告配信を開始いたしましたので、お知らせいたします。

「LINE広告」では、「LINE」および「LINE」関連サービスを対象として、2016年から「LINE VOOM(旧タイムライン)」や「LINE NEWS」に加え、「LINE BLOG」、「LINEマンガ」、「LINEポイントクラブ」、「LINEショッピング」、「トークリスト」、「ウォレット」、「LINEチラシ」、「LINEクーポン」、「LINEマイカード」上で広告配信を行っています。運用開始以降、累計49,000件超の広告アカウント^{*1}に投稿いただいています。

このたび「LINE広告」では、企業におけるマーケティング活動最大化を支援することを目的に、「LINE」内の様々なコンテンツを集約している「ホーム」タブでの広告配信を開始いたしました。

^{*1} 2022年2月末時点

■月間9,000万人が利用する「LINE」の様々なコンテンツ・サービスの入り口となっている「ホーム」タブへの広告配信によって幅広いユーザーへのリーチを実現

「LINE」の「ホーム」タブは、「LINE」内の様々なコンテンツ・サービスの入り口の役割を果たすポータル画面です。2019年に「友だち」タブから「ホーム」タブへリニューアルし、友だちリストや「LINE」のファミリーサービスを中心に様々なコンテンツを提供しています。月間9,000万人^{*2}が利用する「LINE」の各種サービスの入り口として機能する「ホーム」タブでの広告配信が可能になることによって、幅広いユーザーへのリーチを実現いたします。

^{*2} 2021年12月時点

「ホーム」タブ内の広告掲載箇所



※「ホーム」タブ内のサービスリスト下に掲載

LINEでは、今後も様々なメニューを通じて、企業とユーザーの双方にとって価値のある情報接点を提供し、コミュニケーションプラットフォームとして多様な活用の可能性を広げてまいります。

■「LINE広告」について

「LINE広告」は、LINE株式会社が運営するコミュニケーションアプリ「LINE」関連サービスを対象とした運用型広告配信プラットフォームです。運用開始以降、累計49,000件を超える広告アカウント^{*3}に投稿いただいており、「LINE」アプリ内で高いMAUを誇る「LINE NEWS」への配信に加え、「LINE VOOM」、「ウォレット」、「LINE BLOG」、「LINEマンガ」、「LINEポイントクラブ」、「トークリスト」、「LINEショッピング」、「LINEチラシ」、「LINE クーポン」、「LINEマイカード」への広告配信が可能です。また、「LINE広告」を通して、7,700^{*4}を超えるアプリにリーチができるアドネットワーク「LINE広告ネットワーク」への配信も可能です。広告の表示有無や配信ターゲット、その効果等を細かく確認・検証しながら運用することができるため、予算が限られているプロモーションへの対応や、売上予測や目標達成度等に合わせた配信が可能になります。

^{*3} 2022年2月末時点

^{*4} 2021年9月時点

